



振り返りの時期

小学部副校長 近江 学

新しい元号となった令和元年度も、残すところ数週間となります。令和元年度の卒業証書授与式は3月11日（水）、修了証書授与式は3月22日（日）に執り行われます。また、ほかの学年は3月25日（水）が修了式となります。「登校するのもあと何日」とカウントダウンできるところまでやってきました。

この時期は様々なことを振り返る、まとめの時期となります。目標に向けて、できるようになったこと、努力してきたこと、頑張ってきたこと、協力してきたこと、楽しかったこと、嬉しかったこと等々。子どもたちの様々な成長を、私たち大人がしっかりと認め、褒めていき、次のステップへとつなげていけるようにしたいものです。

子どもたちには、自分自身の努力が成長につながっていることを実感すると同時に、様々なかかわりの中で成長してきたことも実感できるようになってほしいと思います。クラスや学年の仲間とのかかわり。1年生から9年生までの縦割り活動やペア学年でのかかわり。クラブ活動や委員会活動、部活動などの異学年とのかかわり。保護者・地域・ボランティアの方々、担任を始めとした学校の教職員とのかかわり。このような数々の場面を振り返ると、学校生活の様々な活動で様々な人とのかかわりの中で成長してきたことに気付くのではないのでしょうか。先日、下校の見守りをしながら子どもたちとあいさつをしていた時のことです。「さようなら！」のあいさつに混ざって「いつもありがとうございます！」とあいさつをしてくれた子がいました。一人だけで成長しているのではなく、人と人のかかわりの中で育ってきていることを感じ、とても嬉しく思いました。そして、あいさつをしてくれた子に、感謝の気持ちを感じた瞬間でした。

さて、学校でも本年度の振り返りを行い、来年度に向けて準備をしているところです。9年間で育てる子ども像「積極的に行動して、課題を自ら解決できる児童・生徒」の育成に向け、今年度からスローガン「すすんで挑み、自分をみがく」を掲げてきました。着実に子どもたちは成長を遂げています。子どもたちのアンケートからは、自尊心や自己有用感が全市・全国の平均を上回っていることがみえてきます。また保護者の皆様にご協力をいただいた学校評価アンケートでは、昨年度よりもよい評価をいただいております。また、学校での取組をきっかけに、自主的に友達と一緒に近所のごみ拾いをしたお子さんの保護者の方から、「とても意義のあることを学び、自分ができることを率先して友達と一緒に実行したことは素晴らしいこと。そのようなよい学習の機会があることや、共に学び助け合うよい友達に恵まれていることはとても幸せなこと。」という内容のお手紙を学校長宛でいただくこともありました。「何するどうする」から「気づく考える行動する」へと成長していく姿が着実に増えていると確信いたしました。

これまでの取組を振り返り、成果と課題を整理し、次年度の学校経営へとつなげていきます。来年度は小中一貫11年目となります。新たな10年の始まりとして歩み続けていけるよう、持続可能な教育を目指していきます。